JUNBA 2013

福岡工業大学
学長 下村 輝夫

FIT 学校法人 福岡工業大学

教育の質保証と国際通用性を確保するための教育システムの整備に関する具体的取組み

全学での取組み

□英語教育を学士力・就業力の基本要素（コミュニケーション・スキル）と捉え、成熟社会で求められる能力として、不可欠なものと位置付ける。

- ✓ 外国語の卒業要件単位数を英語8単位として最低2年間の履修。
- ✓ 能力別クラスを2年次まで実施。

□就業力の4つの要素(志向力、共働力、解決力、実践力)育成を全学統一カリキュラムに展開して、4年間の段階的な教育プログラムとして整備。

学部での取組み

□ 教員間で授業方法の好事例について共有したり、各教員が教育改善計画書を作成するなど、PDCAサイクルに基づいた教育改善と質保証の体制を整備。

□ 学士課程教育の質的転換を意識したカリキュラム改正。

- ✓ 各年次進級単位及び卒業単位の見直しと学修時間の確保。
- ✓ アクティブ・ラーニング、PBLの導入。

今後の取組み

第6次マスタープラン(2013年4月)において、今後教育の質的転換を果たすため、ナンバリング等グローバル化に対応した教育課程の体系化を図る。

世界で活躍する人材育成の観点から力を入れている取組み

教職員向けグローバル人材育成プログラムにも注力

直接的取組
日米大学協同による、先導的トップクラスの学生向け
グローバル人材育成プログラム

ACE　program（2011年8月-）

日米の大学から選抜されたトップクラスの学生が、グローバルな課題を議論できる機会を創出。学習成果の相乗効果を生み出しつつ、大学の国際化に対する本学教職員の意識変革を目指した取組。企画、学生選抜、実施に関して日米双方の学長が自ら参画することが特徴。カルフォルニア州立大学イーストベイ校及び本学から各10名の学生が選抜。

- ✓ 日米大学生間でグローバルな課題を語り合う機会
- ✓ 異なる文化を背景とした価値観を共有する機会
- ✓ 分析力・考察力・批判的思考力を磨く機会

（ACE ： Advanced Culture and Educational）

間接的取組
育成を担う教職員向け
海外研修プログラム

FAST program（2009年6月-）

中堅職員を主にチームを結成しテーマ別にCSUEBに派遣。SDの観点からグローバル人材の育成を図ると共に得られた内容を学生支援及び大学運営にフィードバック。

（FAST ： FIT Administration Staff Training）

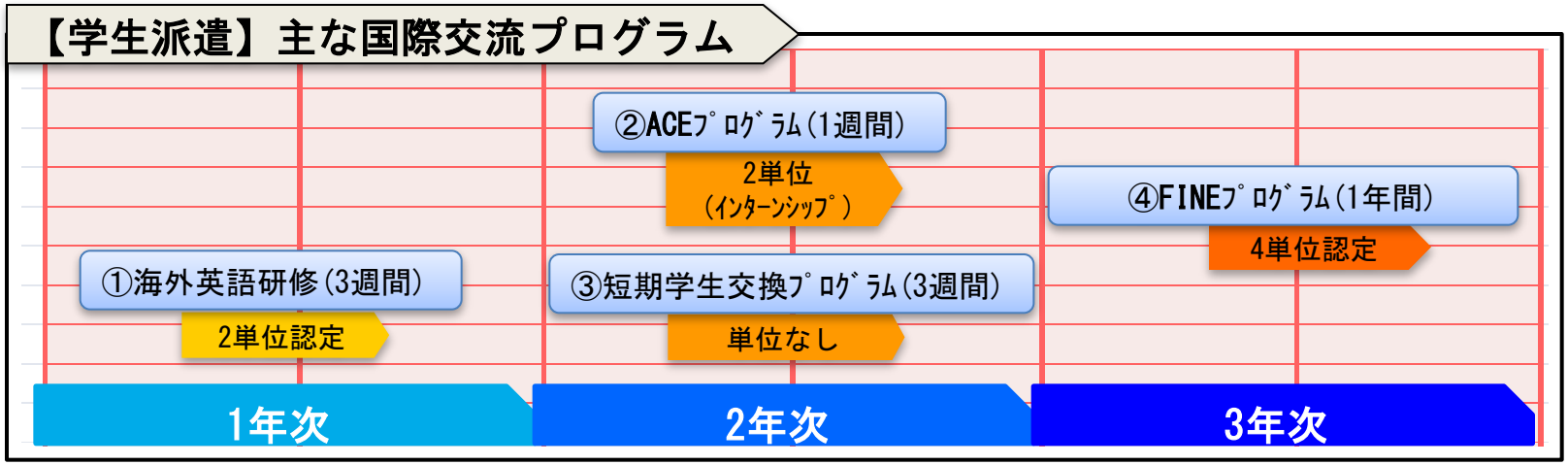
LEAD program（2013年8月-）

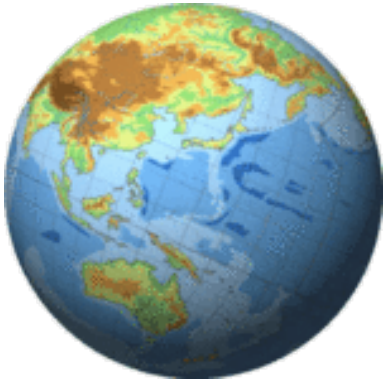
グローバル感覚に富み、教育研究及び大学運営において広い視野と優れた知見を持ち、将来を担う優れた次世代リーダーを養成するため、意欲と能力のある若手教員・職員各1名を選抜して、CSUEBに1年間派遣。

（LEAD ： Leadership of Education & Administration Development）

アカデミックプログラム内における学生の各種国際交流プログラムの体系的位置付け

プログラム体系と海外ネットワーク



※6ヵ国14大学と学生交換協定を締結

- 教職員の意識改革
- 段階的プログラム構築
- 質を重視した海外大学間交流